

保護者の皆様

里浦小学校長 早川 和美

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の分析及び今後の具体的な取組について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、全国学力・学習状況調査の結果が出ましたのでお知らせします。学校といたしましては、今回の調査結果及び各学年の実態をふまえ、一層の学力向上をめざすとともに、よりよい学校教育に取り組んでいきたいと考えています。今後ともご理解・ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

国語

	分 析	今後の具体的な取組
成果	<p>思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う力を問う設問の正答率が高い。このことから、児童はよく読書をしており、語句の意味や使い方について理解していることがうかがわれる。</p> <p>漢字の書きの正答率が高く、授業や家庭学習での日々の積み重ねとその定着がみられる。</p>	<p>国語以外の教科においても音読する機会を設け、読み間違いやすい言葉や意味を確認しながら学習するように心がける。</p> <p>国語以外の教科でも個人またはグループ学習で要約したり、文章を書いたりして、互いに意見を出し合い共有できる活動を設ける。</p>
課題	<p>目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える力を問う設問のように、表現の仕方の特徴や工夫について捉える力に課題がみられる。</p> <p>目的に応じ、文章と図表とを結びつけて、必要な情報を見つける設問や、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する設問のように、文の構造や組み立てについて構成する力に課題がみられる。これらのことから、長文を読み取る力や、内容を読み取ったり、要点を整理したりすることができるようにすることが今後の課題である。</p>	<p>全国学力・学習状況調査の形式に慣れさせるために、課題を解決する学習プリントに計画的に取り組む。</p>

算数

	分 析	今後の具体的な取組
成果	<p>棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取る力や、午後1時35分から50分後の時刻を考える力が定着している。</p> <p>余りのある割り算の答えと余りをもとに思考する設問や、2つのコースの道のりの差を求める設問の正答率が高い。これらのことから、解答を得るために思考し、その考え方を活用して問題を解く力が育ちつつあることがうかがわれる。</p>	<p>具体物を使ったり、教材を工夫したりして量感を育みながら、基礎基本を定着させる。</p> <p>立式するだけでなく、なぜそうなるかを説明したり、記述したりさせ、理解を深める。</p>
課題	<p>速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する設問に課題がみられ、速さ、道のり、時間の関係を十分に理解することが求められる。</p> <p>複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて面積の求め方と答えを記述する設問に課題がみられる。このことから、面積をもとめるだけでなく、なぜそのように求めるのか理由を考え、文章で説明できるようにすることが今後の課題である。</p>	<p>問題文の内容を読み取る時間を設け、解き方の交流を行うことにより、学びが深められるようにする。</p> <p>生活の中で計算や図形に関係した内容を意図的につなげ、学習が生活に役立っていることを実感させるようにする。</p> <p>隙間時間にミライシード(タブレット)で定着を図る。</p>

児童質問紙

	分 析	今後の具体的な取組
成果	<p>「5年生までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか。」「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」という質問に対する肯定的な回答をした児童の割合が高く、授業にしっかりと取り組み、主体的に学力を定着させようとする姿がみられる。</p> <p>「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」という質問に対する肯定的な回答をした児童の割合が高く、学級生活を自分たちの力でよりよいものにしていこうとする態度がみられる。</p> <p>「英語の勉強は好きですか。」「5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができましたか。」という質問に対する肯定的な回答をした児童の割合が高く、英語の授業に主体的に取り組み、満足感や充実感を得ている姿がみられる。</p>	<p>授業では、学習計画を教師が示すだけでなく、自分たちで考えさせ、練り合わせる学習活動を重視する。また、自分で家庭学習の内容を工夫し、自分で目標を決め、計画的に進めていく経験をさせる。</p> <p>本時の授業や学習内容が、日常生活とどのようにつながっているのかを意識できるようにする。また、授業の中で、学習したことをどのように生活の場で生かしていこうと考えるのか話し合う活動を充実させる。</p> <p>時間を区切りながら活動させる中で、効率的に時間を使うための意識を高める。</p> <p>スマートフォン・SNS・ゲームやテレビなどとの付き合い方を指導し、集中して学習に取り組む時間を増やせるようにする。</p> <p>「里浦スタンダード」を活用し、学習習慣や基本的生活習慣の定着を図る。</p>
課題	<p>「自分にはよいところがあると思いますか。」という質問に対する肯定的な回答をした児童の割合があまり高くなく、日々の生活の中で、自己肯定感が育まれるようにすることが今後の課題となっている。</p> <p>「解答時間は十分でしたか。(国語)」「解答時間は十分でしたか。(算数)」という質問に対する肯定的な回答をした児童の割合が高くない。このため、長文読解に慣れるよう読書習慣を身に付けたり、授業で思考を促す場面を多く組み入れたりすることで、対話的で深い学びを行っていくことが今後の課題となる。</p>	<p>時間を区切りながら活動させる中で、効率的に時間を使うための意識を高める。</p> <p>スマートフォン・SNS・ゲームやテレビなどとの付き合い方を指導し、集中して学習に取り組む時間を増やせるようにする。</p> <p>「里浦スタンダード」を活用し、学習習慣や基本的生活習慣の定着を図る。</p>

「学力向上実行プラン」の中間期見直し

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得	<p>①目標を持たせ、「里浦スタンダード」の充実を図る。</p> <p>②「のびのびタイム」「朝の活動」の時間を補充学習や発展学習の場として計画的に運用していく。</p>
(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成	<p>①課題を解決するために、どのような方法で取り組めばよいか、どのような知識・技能を活用することができるのか話し合う活動時間を確保する。</p> <p>②複数の資料(情報)を読み比べ、その特徴や効果について考えさせる授業の充実を図る。</p>
(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成	<p>①各教科の学習内容を、児童の生活や地域社会と結び付けるなど、課題意識を明確にもたせるとともに、学習の中で、知り得たことや考え得たことを自覚させる中で、自身の変容や成長を捉えることができるようにする。</p> <p>②交流活動のねらいを意識させるとともに、交流することのよさが実感できるようにする。</p>